

静岡

静岡県は、世界遺産・富士山や
 韮山反射炉、世界農業遺産の茶
 草場農法、ユネスコエコパークの
 南アルプス、世界ジオパークを目指す伊豆半島な
 ど、世界水準の「場の力」に恵まれた地域である。
 また、日本一を誇る多彩な食材やお茶、美しく咲き
 誇る花々、豊かな森林や水、全国トップクラスの日
 照条件など、「食の都」「茶の都」「花の都」「森林
 (もり)の都」「水の都」「太陽の都」と呼ぶにふさ
 わしい中心性を持つ地域である。

2015年12月、日本サイクルスポーツセンターにあ
 る伊豆ベロドロームおよび伊豆マウンテンバイクコ
 ースが、それぞれ2020年に開催される東京オリンピ
 ック・パラリンピック自転車競技のトラック・レースとマ
 ウンテンバイクの開催会場となることが決定した。続
 いて、パラリンピックも2016年4月、トラック・レースが

伊豆ベロドロームで開催されることが決定した。

こうした世界水準の資源と、自転車競技への
 機運の盛り上がりを背景に、国内外からのサイク
 リストの憧れを呼ぶ“ふじのくに”を目指すため、県
 では「静岡県サイクルスポーツ協議会」を2016年
 5月に発足させた。

静岡県サイクルスポーツ協議会は、2016年度か
 ら新設されたスポーツ局が中心となり、国、県の道
 路管理者や、警察、自転車競技団体、自転車愛
 好団体等々で構成されている。

今年度の成果目標は、『サイクリストの視点に
 立った安全・快適なモデルコースの選定』と『サイク
 ルツーリズムの受入態勢指針の策定』である。

『サイクリストの視点に立った安全・快適なモデル
 コースの選定』では、協議会で選定したモデルコ
 ースを男女様々な世代のサイクリストが実際に走り、
 県内各地のサイクリング環境を調査している。伊
 豆・東部・中部・志太榛原・中東遠・西部地域でそ
 れぞれコースを設定し、コースの評価や多くのサイ
 クリストを引き寄せるには何が必要か、洗い出しを
 行っている。

『サイクルツーリズムの受入態勢指針の策定』
 は、モデルコース候補の実走調査や地域全体の
 調査により明らかになったサイクリストが求める環
 境を具現化したものとなる。これまでの調査で、静
 岡県は景観や気候、勾配の有無など地域により
 走行環境がまったく異なることがよく分かって
 きた。

今後は、国内外から多くの人が自転車の愛
 好者・競技者として訪れ交流する地域をつ
 くとともに、多くの県民が生涯スポーツとし
 て自転車に親しみ、様々なレベルで競技・
 大会に参加する地域社会を作ること推進して、2020年東京オリンピ
 ック・パラリン
 ピックの自転車競技伊豆開催を契機とし
 た地域経済の好循環を実現したいと考
 えている。

ぜひ皆様もサイクルスポーツの聖地“ふじのく
 に”を目指した取組に参加いただきたい。

サイクルスポーツの聖地 “ふじのくに”を目指して

—『静岡県サイクルスポーツ協議会』発足—



薩埵峠から駿河湾を望む、サイクリング環境調査にて